

## →表面から

### (回答) 学務課

学校評議員と学校支援ボランティアに関しては、電話やファックスだけではなく、電子メールの活用等、相手の状況に応じた連絡手段で、柔軟に対応しています。

- ・【提案】 本校では、定期的に自治協議会とのネットワーク会議を開催し情報交換を図っています。今後は、学校から自治体に積極的に要望等を伝えていくことで、さらに連携の取れたよりよい教育環境ができるのではと思いますが、いかがでしょうか。

### (回答) 教育政策課

子どもたちの安全で良好な教育環境のために、行政への要望事項がありましたら、学校を通じて教育委員会事務局へお知らせください。市長事務局に関係する内容であれば、教育委員会事務局から担当する部署へご要望をお伝えいたします。

- ・【質問】 昨年度、コミュニティー・スクールの導入についてのお尋ねに、学校評議員制度が概ねその役割を果たしていると認識するが、今後、地域の実態に応じ研究し方策を検討する旨の回答をいただきました。国では、学校運営協議会を推進していると聞きますが、今後の熊本市での方向性や予定等はいかがでしょうか。

### (回答) 教育政策課

教育委員会としては、学校評議員制度により「保護者や地域住民のニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、より良い教育の実現に取り組む」という学校運営協議会制度の目的を、各学校で概ね達成していると認識していることから、コミュニティー・スクールは導入しておりません。

なお、熊本地震を経て市長事務局においては、平常時から校区自治協議会などの「地域」、本市が派遣する「避難所担当職員」、指定避難所となる小学校の「施設管理者」から構成される「校区防災連絡会」を設置することとしています。

教育委員会としては、防災という観点から、まずは「校区防災連絡会」を通じて、地域と学校の連携を推進していきたいと考えております。

## 6 その他 (図書館・博物館等の社会教育に関してどうぞ)

- ・【質問】 平成22年度から、要・準要保護世帯に従来の学用品・給食費等に加え、クラブ活動費やPTA会費等も補助費目として追加するよう通知があっていると聞きました。本市では、どのような形で上記補助を行っておられるでしょうか。

### (回答) 学務課

要保護(生活保護受給)世帯については、生活保護費として、学用品費、給食費、クラブ活動費やPTA会費等が支給されています。準要保護世帯については、認定者が年々増加し、支給総額が増えている状況において、クラブ活動費やPTA会費等、新たな支給費目の追加は困難な状況です。

なお、本市では、本市独自の支給費目として、学年に応じた補助教材費(1人当たり年間4,000円から7,000円)を支給しています。

- ・【質問】 部活動や塾通い等により、生徒の土日祝日の過ごし方は固定傾向にあります。したがって、博物館・図書館等、社会教育機関を利用する機会は少ないようです。折角の価値ある機関です。学校や家庭と連携した活用など、有効な活用事例等がありましたら教えてください。

### (回答) 教育政策課

土曜日の教育活動支援として、社会教育施設である図書館、博物館、公民館で、次のようなプログラムを実施しております。

図書館では、子どもを含めた市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、おはなし会、紙芝居等の読書啓発活動、子ども映画会等を開催し、多様な学習機会を提供しています。

熊本博物館では、地域の方々とともに、塚原歴史民俗資料館や子ども文化会館等で、科学実験や科学工作などの体験を通じて自然科学の原理や技術などを学ぶ「子ども科学・ものづくり教室」を開催しており、平成29年度は27回実施する予定です。

公民館では、学校等では体験できない機会の提供をする子ども講座プログラムや、子ども自らが講座等のイベント等を企画し、運営する子どもチャレンジ公民館を実施しております。

- ・【提案】 先生方にPTAのことを理解していただくことは意義あることと思っています。例えば、先生方の初任者研修の中に、「PTAについて」といった内容を加えていただくことはできないでしょうか。

### (回答) 教育センター

PTAに関する研修については、初任者研修において、各学校の年間指導計画基礎的素養(一般研修)として位置づけられ、校内研修にて実施されています。

(完)

